

キャラクター名  
生駒 雪風

プレイヤー名

シンドローム	サラマンダー ブラム=ストーカー		ワークス	UGNエージェントA	カヴァー	UGN南極支部臨時局員
	オプション		年齢	39	性別	男性
覚醒	渴望	衝動	吸血	初期侵食率	47	%
出自	安定した家庭	経験	喪失	邂逅	恩人	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	34
肉体	3	1	0	2		6	行動値	6
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	6
精神	2	0	0			2	戦闘移動	11
社会	1	0	0			1	全力移動	22

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	6		射撃			RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志	1	1	調達	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:	UGN	1
運転:			芸術:	3		知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
素手	白兵	6r+6	0	1		イフリートの腕
"還零の紅蓮槍"	白兵	6r+6				朱色の大斧込み
100	白兵	15r+6		28		(コンソントレイト:ブラム=ストーカー+鮮血の撃+渴きの主+始祖の血統+フレームタン+クロスバースト)

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
赫き鎧			0	0	HP消費の2倍の装甲

所持品	
思い出の一品	
レッドナイトメア	

合計装甲: 0    合計回避: 0

ロイス			
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイム消費
遺産継承者:イフリートの腕	P	N	
	P	N	
	P	N	
	P	N	
	P	N	
	P	N	
	P	N	

最大財産P: 4    残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
王者の血	6	-	常時	至近	自身	-	-	
効果: ブラム=ストーカー-EFによる回復量+[Lv×3]。								
不死身の炎	3	1d10	セットアップ	至近	自身	-	100	
効果: シーン中、最大HP+[Lv×10]。戦闘不能で解除。シナリオ1回。								
赫き鎧	5	2	マイナー	至近	自身	-	-	
効果: [Lv×3]以下の任意のHPを消費し、[消費HP×2]の装甲値の防具を装備する								
C:ブラム=ストーカー	2	2	メジャー	-	-	シンドローム	-	
効果: 説明を求めない								
鮮血の一撃	1	2	メジャー	武器	-	白兵	-	
効果: 判定ダイス+[Lv+1]個。HP2消費。								
渴きの主	3	4	メジャー	至近	単体	白兵	-	
効果: 装甲無視。命中でHP[Lv×4]回復。								
朱色の大斧	5	4	メジャー	武器	単体	シンドローム	リミット	
効果: ダメージで、そのシーン中、白兵攻撃の攻撃力+[Lv×4]する。								
生命吸収	1	4	メジャー	至近	単体	シンドローム	80	
効果: ダメージで、対象のHPを[Lv×3]点失わせる。その分回復。シナリオ3回。								
始祖の血統	3	4	メジャー	-	-	シンドローム	100	
効果: 判定ダイス+[Lv×2]個。HP3消費。								
フレームタン	1	2	メジャー	視界	-	白兵	-	
効果: 射程を視界に。攻撃力-[5-Lv]。								
クロスバースト	3	4	メジャー	-	-	シンドローム	80	
効果: 攻撃力+[Lv×4]。ダイス-2個。								
冷たき抱擁	3	5	メジャー	-	-	シンドローム	120吸血	
効果: 与えたダメージ分回復。シナリオLv回。。								
ソウルスティール	3	5	メジャー	-	-	シンドローム	120吸血	
効果: ダメージで、シーン中HP+[Lv×10]。シナリオ1回。								

元南極調査隊の男  
南極で遭遇した未確認の現象を前にして調査隊は壊滅、遭難。  
"ホール"と言われていたその現象により、遺産と遭遇した雪風は、生き長らえるために力の覚醒させることになる。  
その際にUGN南極支部により救助、事の説明を受け、日常に戻れないことを察した雪風は、UGN南極支部臨時職員として活動することにしたのだった。  
だがこれは10年前の記録。  
なお、その後の雪風の所在は明らかになっておらず、日本に残った家族は、この事を知る由もない。

